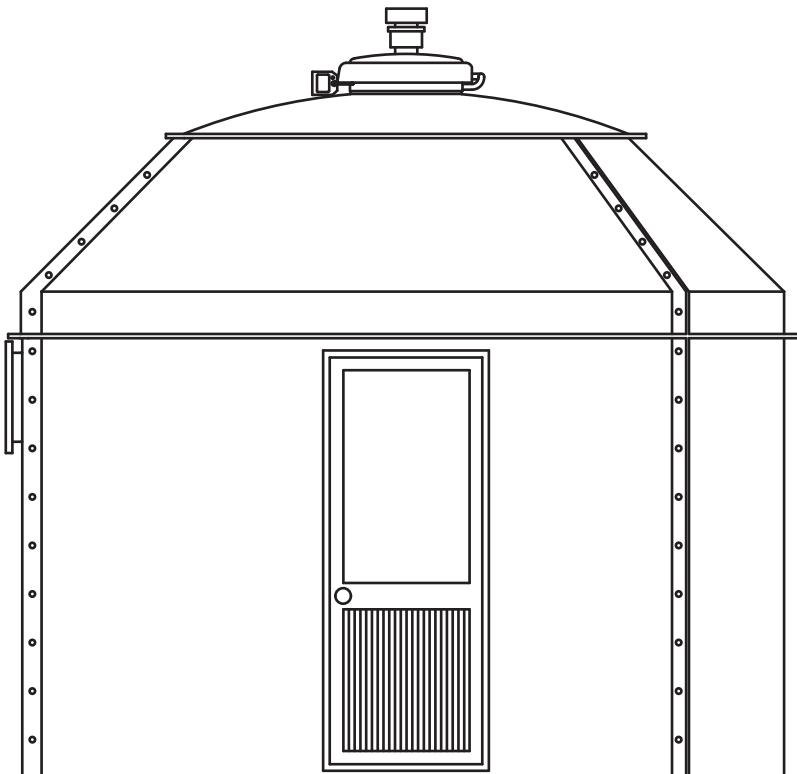




F.R.P. 小屋

組立マニュアル



お買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この組立マニュアルをよくお読みのうえ、正しくお使いください。
この組立マニュアルは、いつでも見れるように大切に保管しておいて下さい。

もくじ

●各パネルの説明	… P1	●組み立て	… P3
●梱包品の確認	… P2	●ボルトがボルト穴に通らない場合	… P5
●組み立て前の準備	… P2	●内装工事について	… P5
●組み立て前の注意事項	… P2	●FRP ドームハウスクラブについて	… P5

●各パネルの説明

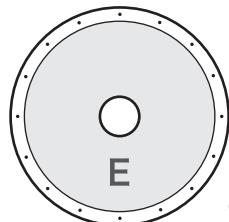
- A 土台となるパネルで、ドア枠が付いているパネルです。
- B 土台となるパネルで、エアコンの設置台が付いているパネルです(オプションパネル)。
- C 土台となる平面的なパネルで、A、B いずれかに取り付けます。
- D 第2層に取り付けるパネルです。
- E 天井となるパネルです(採光の為、スリガラスのようなくすんだ半透明色パネル)。
- F 天井パネルに取り付けるFRPハッチです(オプションで換気扇取り付け可能)。

最上部



1枚

第3層



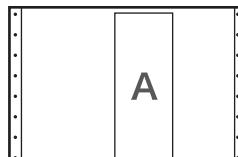
1枚

第2層

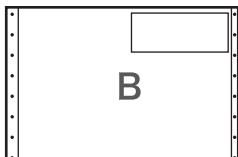


3枚

第1層



1枚



B



C

2枚



グリーンラベルのパネルは第1層、イエローラベルのパネルは第2層、レッドラベルのパネルは第3層に組み立てます。

全てのラベルは、組み立ての際にパネルの下側に向く位置に貼られています。

■内に表示されている枚数は、標準仕様キットで使用されるパネルの枚数です。

●梱包品の確認

FRP 小屋 1 棟につき、本体として 7 枚の FRP パネル、1 個の FRP ハッチ、取り付け部品として 180 セットのボルト・ナット・ワッシャー、工具として 2 本のレンチが用意されています。また、標準仕様キットでは、ドアが 1 枚用意されています。



●組み立て前の準備

① 包みを解く

工場より出荷されたパネルにはあらかじめボルト穴が空けられています。各パネルにはアルファベットが明記された「カラーキーラベル」が貼り付けられています。

色はグリーン、イエロー、レッドの 3 色あり、組み立てるパネルの階層と向きを識別する為に貼り付けてあります。包みを解き FRP 小屋を組み立てる前にパネルを「カラーキーラベル」毎に分けて下さい。

② 設置場所、床の確認と準備

FRP 小屋組み立ての前に設置場所を決めて下さい。長期間使用される際は、コンクリート、ウッドデッキ等の基礎床をあらかじめ施工されることをお勧めします。短期使用の際にはビニール等の床でもかまいませんが、FRP 小屋は基本的には建築物であり、土地に定着させる必要がある為、必ず水平で安全な場所を選び、障害物をきれいに取り除いて設置して下さい。

③ 必要な道具の確認と準備

FRP 小屋の組み立てには梱包品の他、お客様にご準備頂きたい道具として以下のものがあります。

- ①スケールと紐 (FRP 小屋組み立て基準線をマークする為に使用します)
- ②180cm 以上の脚立
- ③UNIC 車両など FRP パネルを吊る、支えることの出来る重機
- ④電動ドリル (ドアのビス止めに必要、ボルト本締め作業も楽に行えます)
- ⑤アンカー・杭等 (FRP 小屋を固定する為のもので、設置場所に応じて選定して下さい)
- ⑥鉄板用タッピングビス (ドアを取り付ける際に使用します)

■組み立て前の注意事項



ご注意

① 作業人数

組み立て作業は必ず 3 人以上で行って下さい。

② 作業重機

組み立て作業をする際には UNIC 車両等、FRP パネルを吊ったり支えたり出来る重機を御使用下さい。
また重機を御使用になれる方で作業を行って下さい。

③ 安全対策

FRP 小屋の組み立ては高所での作業を伴います。また、FRP 表面は滑り易くなっていますので、作業の際にはヘルメット、安全靴等を着用するなどの安全対策をした上、周囲に充分な注意を払って慎重に作業を行ってください。強い雨、風のなかでの組み立て作業は危険ですので行わないで下さい。

④ パネル取り付け

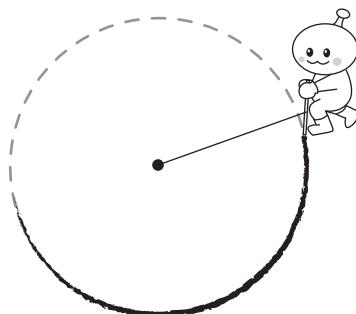
- ・ボルトを締める際は、必ず右図のようにワッシャーを通して下さい。
- ・全てのパネル穴にボルト締めを行って下さい。
- ・パネルが全て組み終わるまでボルトは手締めにて仮締めにして下さい。



●組み立て

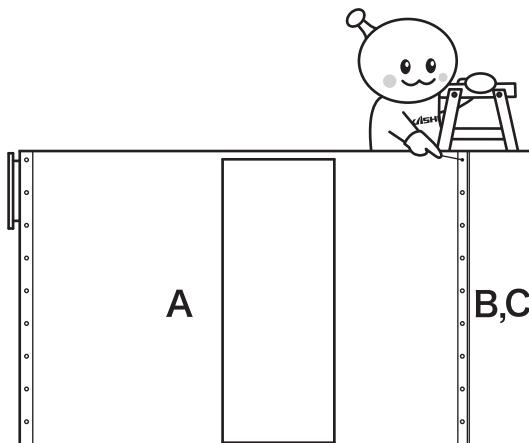
STEP 1

あらかじめ施工されているコンクリート・ウッドデッキ等の基礎床を使用しない場合は、水平で安全な設置場所を選び、周囲にある石やガレキなどの障害物をきれいに取り除きます。FRP 小屋半径の長さのロープを使い、中心位置より円を描き、真円の基準線をマーキングして下さい。その基準線より外側の邪魔にならない場所に、カラーキーラベル毎にパネルを分けて組み立ての準備をします。



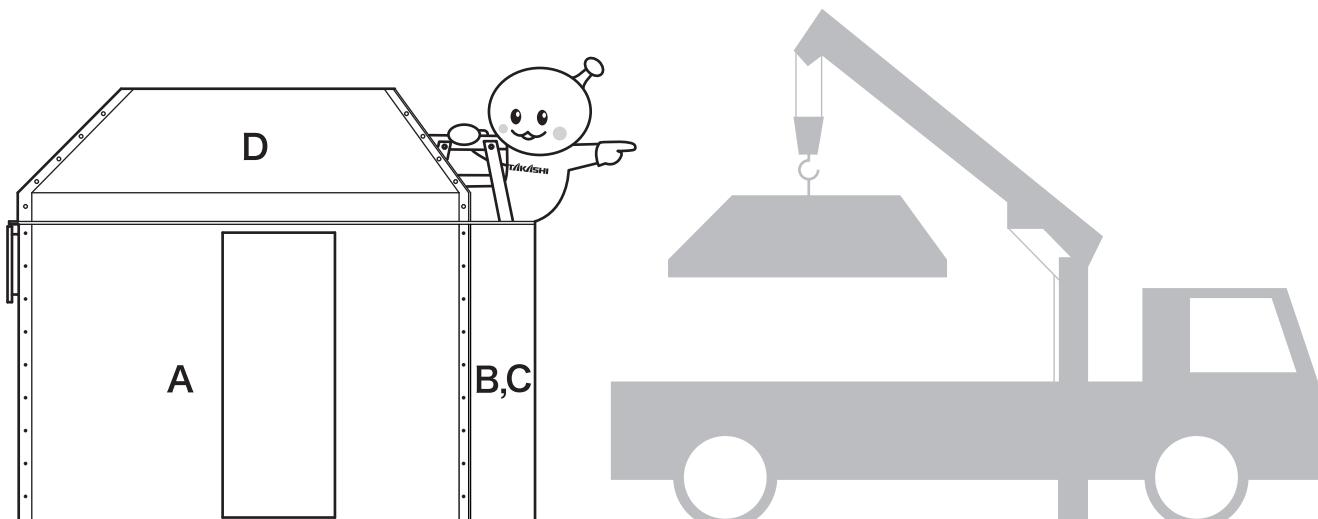
STEP 2

第 1 層（グリーンラベル）は計 3 パネルです。最初に (A) のドアパネルを STEP1 でマークした基準線上の好きな位置に固定します。次に (A) パネルの両サイドに (B) 或いは (C) パネルを取り付けます。ボルトは高い位置から順番に通していく、ナットは手締めにてボルトが抜けないようにしっかりと仮締めして下さい。取り付け完了後、取り付けパネルの外周が基準線に合うように再調整して下さい。



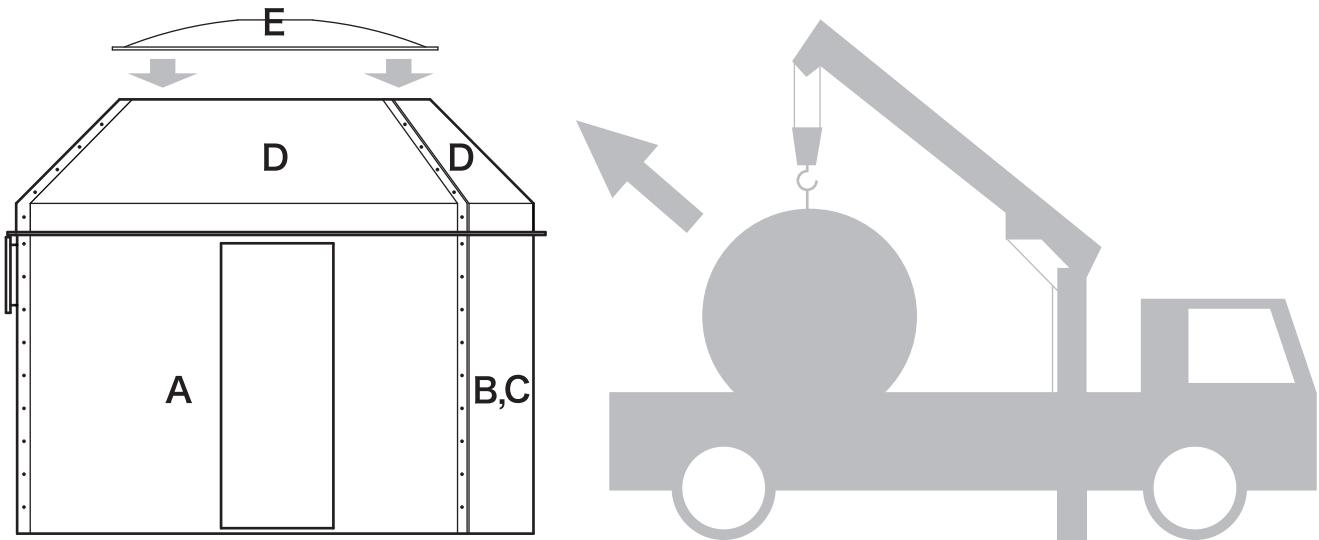
STEP 3

第 2 層（イエローラベル）は (D) が計 3 パネルです。どの位置から取り付けてもかまいませんが、1 パネルの重量が重く、高い位置での不安定な取り付け作業となり危険を伴いますので、充分な安全対策をされた上で、必ずパネルを重機等で吊るす、支える、固定するなどして慎重に作業を行って下さい。



STEP 4

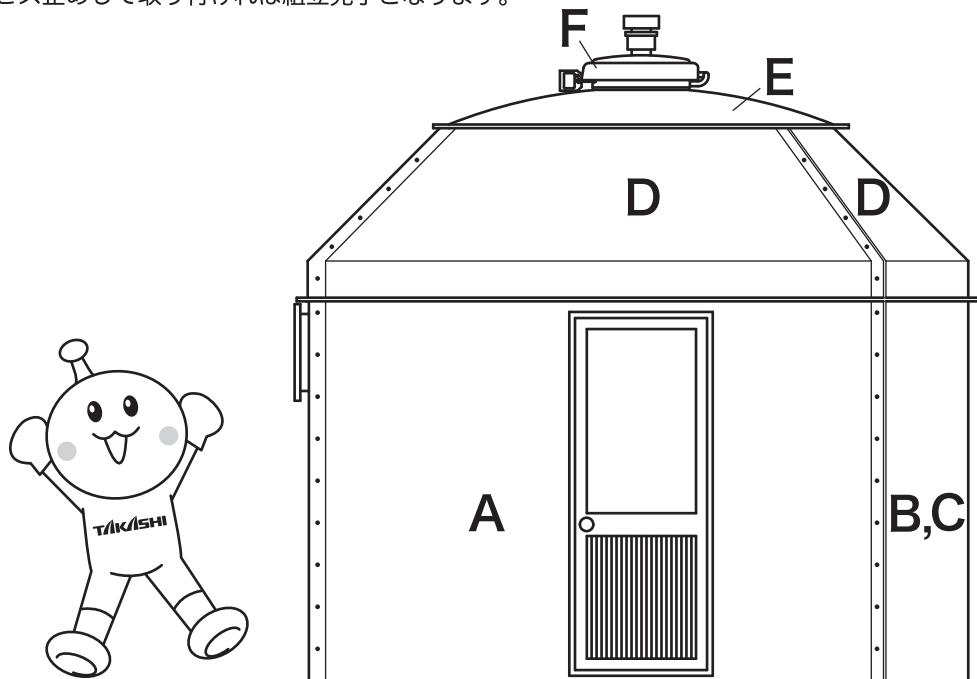
第3層（レッドラベル）は（E）の天井パネル1枚です。このパネルは採光の為にスリガラスの様なくすんだ半透明色のパネルになっており、他のパネルと色が違います。このパネルは第2層の全パネルと結合します。まず2本のボルトを通して優しく引いたり押したりしていくと残りのボルトも通り易くなります。



STEP 5

最後は STEP4 にて取り付けた最上部パネル（E）の穴に被せるように FRP ハッチ（F）を取り付けます。この FRP ハッチは通気口の役割として取り付けますが、オプションにて FRP ハッチ自体に換気扇を取り付けることもできます。換気扇の電源を小屋内部からとるのか外部からとるのかを確認の上、コードを小屋の内或いは外にして下さい。

締め忘れのあるボルト穴の有無を確認し、全てのナットを本締めにして下さい。本締め作業が完了したら、第1層を構成しているパネルについているアンカー打ち込み用穴（FRP リブ部分の穴）にアンカーや杭を打ち込み、小屋を固定します。最後にドアをビス止めして取り付ければ組立完了となります。



【解体について】

最初に（E）の最上部パネルから始め、必ず上部から順番に1枚づつ分解作業を行って下さい。

ご注意

●ボルトがボルト穴に通らない場合

■他のパネルのボルト穴にきちんと合わず、ボルトがボルト穴に通らない

底部の直径が正確な円の球形（真円）であれば通りますが、直径が楕円形になってしまっていれば、直径がねじれている為ボルト穴の調整は難しくなります。

■直径が正しいのに、ボルトがボルト穴に通らない

パネルを優しく引いたり押したりを繰り返しながら、レンチ等でかるくシャクってボルト穴を調整してください。
FRPは引っ張り強度が強く、収縮性もありますので、ある程度のねじれは調整できます。

●施工等について

当社 TAKASHI の FRP 小屋は、FRP パネルで構成された仮設目的の無骨組構造物です。

その使用目的、設置場所により、法的解釈が異なる場合があります（詳しくは当社ホームページにてご確認ください）。

仮設目的以外での使用、内装工事等の施工をお考えの場合は、お客様ご自身にて専門家にご相談の上、自己の責任において行ってください。

●FRP ドームハウスクラブについて

当社 FRP ドームハウス、FRP 小屋をお買い上げ頂きましたお客様には、当社ドームハウスホームページにてメンバー間の情報共有サイトを御提供させて頂いております。お買い上げ時にログイン ID を発行致します。

MEMO

ご質問などございましたら、まずは info@takashi-sangyo.co.jp までメールにてお願ひいたします。



タカシ産業株式会社

FACTORY 〒719-3121 岡山県真庭市上河内 627 TEL 0867-55-2211 FAX 0867-55-2210
<http://www.takashi-sangyo.co.jp/> <http://www.frp-domehouse.takashi-sangyo.co.jp/>

